

安 全 情 報

No 22 / 2016

カラカス首都区で発生している抗議活動及び略奪行為に関する注意喚起

6月2日(木)、カラカス首都区(リベルタドール市)内の数カ所の地区において、物不足等に対する抗議活動や略奪行為が発生し、リベルタドール市警察や国家警察(GNP)だけでなく国家警備軍(GNB)も出動する事態となりました。ベネズエラでは、パンや牛乳等の基礎食料品、医薬品の不足が極度に悪化しているほか、停電、節水制限等も重なり、市民の不満がこれまでになく高まっています。今後、チャカオ市等のカラカス首都圏内の他市や他州でも抗議活動が広がり、大きな暴動へ発展するおそれがあることから、下記の情報をご参照頂き、外出される際には、注意をお願いします。

記

1 カラカス首都区(リベルタドール市内)の抗議活動及び略奪行為発生場所

- (1) アルタグラシア教区内の数カ所
- (2) ラ・カンデラリア教区内フェルサス・アルマダス通り付近の数カ所
- (3) サンタ・ロサリア地区内フェルサス・アルマダス通り付近の数カ所
- (4) サン・ファン教区サン・マルティン通り付近の数カ所

2 注意事項

- (1) 政府系武装集団(コレクティーボ)も略奪に加わり、警官隊と激しい銃撃戦を繰り広げているとの情報もあります。コレクティーボは、警察よりも重武装化していることから、今後、治安機関の特殊部隊や国家警備軍と激しい衝突が予想されます。
- (2) ベネズエラでは、今年に入り、経済状態の悪化から深刻な物不足に陥っています。国民の不満も高まっており、報道によりますと、1月~4月までに2138件の抗議デモと166件の略奪事件等・未遂事件(117件との調査結果もあります)が発生しているほか、5月は、1ヶ月で73件発生したと報じられています。
- (3) 今後さらに、物不足、停電、断水等が悪化するおそれがあり、ベネズエラ全土において、抗議活動や暴動が発生する可能性があります。つきましては、当面の間、夜間早朝の外出及び不要不急の外出は控え、できる限り食料品、飲料水等の備蓄に努めるとともに、やむなく外出の場合には、テレビ、ラジオ、インターネット等で事前に外出先や経路の状況を確認するようお願いいたします。